

山本実彦旧蔵 慶應義塾図書館所蔵



# 改造社出版関係資料

## 近代文学研究における貴重資料や 出版史における稀少な資料群

DVD版

# 「改造」直筆原稿 画像データベース

— 付録『「改造」直筆原稿の研究』 —

## 90人の名だたる作家の直筆原稿が 推敲のあとも生々しく蘇る

改造社社主山本実彦が旧蔵していた、改造社関係の雑誌や書籍の原稿の数々。それは大正10年から昭和21年の間に、「改造」、「女性改造」、「短歌研究」などの雑誌や、「日本文学講座」などの単行本のために書かれたもので、作家数で90人、枚数で7000枚を超える、膨大かつ貴重なものであった。1999年、それらが遺族により彼の出身地である薩摩川内市に寄贈された。本DVDはそのすべてを収録し、掲載誌面や解説を付してデータベース化したものである。

主な直筆原稿は、横光利一の長編「上海」、大佛次郎の史伝「ドレフェス事件」、井伏鱒二「波高島」、幸田露伴「蒲生氏郷」、小林多喜二「工場細胞」、瀧井孝作「無限抱擁」、谷崎潤一郎「芸術一家言」、火野葦平「敵將軍」、武者小路実篤「或る男」、織田作之助の未発表原稿「続夫婦善哉」など。また、文学者以外にも伊藤野枝、賀川豊彦、堺利彦らの原稿がある。

- 著者の推敲のあとや編集者の朱書きなど、作品完成までの生々しい過程を見ることが出来る。検閲に配慮した伏字の再現も可能。
- 直筆原稿7000枚とその初出雑誌誌面約2500頁をあわせて1枚のDVDに収録、両者の比較検討を可能に。原稿が初出誌にどのように出て、単行本や全集の時はどう変わったか。文学における創造のメカニズムの解明につながる。
- 近代文学専門家7名からなるワーキンググループによる、90人の著者の経歴と235点についての資料解題つき。



原本所蔵・監修：薩摩川内市川内まごころ文学館  
 編集：紅野敏郎・日高昭二・紅野謙介・島村輝・十重田裕一・三島盛武・宗像和重  
 解題執筆：阿毛久芳・飯沼典子・大橋毅彦・川瀬 清・古守やす子・高室有子・千葉俊二・辻本雄一・長島裕子・保坂雅子  
 DVD版ディスク1枚+付録研究論文集（B5判 上製 400頁（別売可））  
 定価：300,000円+税 ISBN：978-4-8419-0460-4

ご注文・お問い合わせは

**M MARUZEN-YUSHODO 丸善雄松堂株式会社**

学術情報ソリューション事業部 研究支援統括部業務支援部 販促グループ <http://yushodo.maruzen.co.jp/>  
 〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル Tel:03-6367-6025 Fax:03-6367-6188 e-mail: kenkyushien@maruzen.co.jp



YP-243 (0821) 2015-5



原本所蔵：慶應義塾図書館  
 編集：慶應義塾図書館改造社資料刊行委員会  
 田村俊作・石黒敦子・紅野謙介・五味湖典嗣・杉山伸也・玉井 清・松村友規  
 解題執筆：浅岡邦雄・和泉 司・尾崎名津子・黒田俊太郎・高 榮蘭・小向和誠・柴野京子・戸家 誠・三浦 卓  
 DVD ディスク 1 枚  
**定価 300,000 円** + 税  
 ISBN 978-4-8419-0534-2

改造社関係の資料のうち、作家の原稿類は山本実彦の生地である鹿児島県薩摩川内市の川内まごころ文学館に約7000枚の直筆原稿が寄贈され、さきに、『「改造」直筆原稿画像データベース』（雄松堂出版 2007年）として公開した。ついで今回の収録対象となったのが、慶應義塾図書館に寄贈された、改造社内部の出版関係資料および経営関係資料、改造社社主山本実彦自身に属する文書および山本個人に関する資料である。その内容は、出版資料として残された作家・著述家直筆の原稿や書簡、校正ゲラ、『現代日本文学全集』（円本）の底本、原稿料や印税の記録、広告・宣伝に関する文書、関係業者との交渉の記録、改造社の経営に関する社内文書、山本実彦自身による記録文書、戦後における山本実彦の公職追放をめぐる裁判記録など、多岐にわたり、これらによって、改造社およびその出版に関わる様態を総合的かつ網羅的に俯瞰し得る。

改造社は、1919（大正8）年の雑誌「改造」創刊に合わせた創業以降、1944（昭和19）年のいわゆる「自主廃業」を経て戦後に再建するまで、日本の出版界にあってつねに主導的な役割を果たしたが、出版史上に期を画した出版社内部の未公開資料が、これだけまとまった形で公にされることは、きわめて希有なことである。

本DVDに収めた改造社出版関係資料は、日本近代文学ならびに近代出版史にとどまらず、文化史、経済史、政治史、社会思想史等、広範な分野における第一級の資料である。



### 改造社と山本実彦（1885-1952）

1919年に創業、総合雑誌「改造」を創刊。大正デモクラシー運動の高揚を背景に急進主義的な編集方針を取り、大正から昭和にかけて「中央公論」とともに言論界で主導的な役割を果たした。戦時統制により一旦自主廃業、戦後「改造」を復刊するも山本本人の公職追放もあり、勢いは取り戻せないまま1955年廃刊となった。ほかに『現代日本文学全集』全63巻を発行し円本ブームの先駆けとなった。政治にも関心があり、1930年には立憲民政党から衆議院選挙に当選、戦後は中道主義を掲げた協同民主党を結成するなどした。

# 生き別れ原稿再会の「事件」出現

早稲田大学名誉教授 紅野敏郎

大正末から昭和期にかけて活躍した大出版人山本実彦の出身地は薩摩川内市。その薩摩川内の「川内まごころ文学館」に、山本がかかわった総合雑誌「改造」関係の直筆原稿のおびただしい束が遺族より寄贈された。それを機に整理と公開の方針が決定、デジタル化とそれにちなむワーキンググループが結成され、私と日高昭二氏がその推進につとめ、やがて『「改造」直筆原稿の研究』が雄松堂より上梓され、多くの人びとの支持を受けた。

そのとき横光光一の『上海』の中心的な一章「掃溜の疑問」の原稿も発見され、私たちは大いに興奮、ふるいたった。しかし冒頭部分のみがどうしたにか欠落していた。その欠落部分がこのたびの慶應関係のワーキンググループによって発見された。改造社がどこかの展示用の見本として提供されていたものらしい。つまり生き別れのまま放置されてあったものだ。人間の場合、生き別れの状況がつづいた末に、時を経て再会する例はときどきある。しかしこの種の生資料の場合は、まさしく稀有の事件といってよい。「掃溜の疑問」の生原稿全体が整ったことで、横光の『上海』研究はさらに充実、深化する。

また特筆大書に値するのは、谷崎潤一郎の昭和初期の代表作「卍」の原稿（一枚）の発見である。「川内まごころ文学館」寄贈の谷崎関係の原稿の中軸はペンで書かれた「饒舌録」であった。「改造」連載の「卍」その他の原稿が出て来ず、肩すかしの感があり、多少いらいらもした。このたび飛び込んできたニュースはまさしく朗報。谷崎がよく用いる黄色のケイの原稿用紙に、毛筆で、のびやかに、うるおいを持って、たっぷりとしたためられていた。本文「その十五」の一部だが、紙面全体から女性の肉体がにおいたつ。輝きがみなぎっている。これも展示用に提供、それがもどってきて、別々のところに保管されたままだったのだ。毛筆による真黒な塗りつぶし、ルビ、加筆の具合、編集者の赤ペンの指定文字も実になまなましい。部分ではあるが、その部分を押えることで、全体が透視できる。なんば病院が急いでたかて、いつもある時間には一時間も二時間も寝しやはるよつて、どないしても来るのは夕方か晩ぐらゐになるやろ、というようなカギカッコ抜きの、流し込んだ関西弁を用いての表現が、なんと毛筆のふくらみ、タッチと呼応していることか。女性が外出の前に時間をかけて化粧する、それを、寝しやはるよつてという一語で、ピタリと決まる。谷崎の毛筆は活字以上に活きているのだ。これも別のかたちの生き別れのもの。こういういわば僥倖ともいえるシーンにめぐりあった。まあ、長く生きてよかった、時を待たばこういう好運に恵まれる。

さらに社長山本実彦宛の林美美子や窪川（佐多）稲子の毛筆の手紙もあり、まさに対照の妙。出版社主に対する女性作家のしたたかさや律儀さがしかとうかがえる。美美子は「社長様に御馳走したくて」「お逢ひしたかったのです」と誘いかける。改造社に縁の深い美美子の意味深長の文。稲子は急転する時局のなかで廃刊となった「改造」に対しての相手への思いやりと、前借の稿料は、いずれなんらかの形で、という願い。それが水茎のあとうるわしく、婉曲にしたためられている。二、三の具体例のみをあげたが、「改造」と改造社関係の執筆者にからんだ生資料と内部資料の出現によって、昭和文学、出版史研究に拍車がかかり、幅と深さと輝きが加速することは間違いない。

## 内容分類 (全386点)

- 1 山本実彦にかかわる資料 ..... 89点
  - 1-1 戦前期 (1907-1936)
  - 1-2 戦時期 (1937-1945)
  - 1-3 戦後期 (1946-)
  - 1-4 年代不詳

改造社の創業者であり、一時代を画する出版企業家でもあった山本実彦に関する資料を、年代順に分類。

- 2 原稿・ゲラ・書簡類 ..... 147点
  - 2-1 原稿類
  - 2-2 雑誌のゲラ刷り
  - 2-3 書簡類
  - 2-4 その他編集関係資料

単行本や雑誌の編集に関する資料と、山本実彦や改造社に宛てられた書簡類を取めた。ただし書簡類のうち、改造社会計課宛のもの、〈自主廃業〉時の清算時にやりとりされたものは、金銭の取り引きに関わるものとして、次分類の3に一括した。

- 3 改造社と関係先との交渉にかかわる資料 ..... 64点

- 3-1 著作者との交渉
- 3-2 取引先・業者団体との交渉
- 3-3 広告

改造社の企業活動と深く関わった相手先との交渉の様子を物語る資料を、相手先ごとに分類し収録した。3-1には、印税や原稿料など、著作者との金銭のやりとりに関する資料を、3-2には、雑誌や書籍の製作に関わる業者や関係先、業界団体に関わる資料を区分した。3-3には、日本電報通信社（電通）関連の資料を中心に、宣伝や広告に関わる資料を取めている。

- 4 改造社の経営にかかわる内部資料 ..... 86点

- 4-1 会計・経理
- 4-2 在庫管理・流通・販売
- 4-3 その他社内文書

改造社の会計や経理に関わる記録や、出版物の配本や流通に関わる記録、社内で作成されていた内部文書などで、より改造社の経営の実態をうかがわせる資料である。4-1には、人件費を含め、改造社としての収支や経理に関する資料。4-2には、取次業者や日本出版配給会社との受注と納品に関わる記録。4-3には、その他社内で作成されていたと思われる諸記録を一括。

# 研究者必見のデータベース

評論家 紀田順一郎

マスコミ、出版ジャーナリズム、文芸などの歴史を研究する上で、見逃せない資料が公開される。改造社主山本実彦の旧蔵になる改造社関係の資料（慶應義塾図書館所蔵）である。

改造社といえば、総合雑誌「改造」を通じて広く論壇、文壇に影響力を発揮した出版社であると同時に、いわゆる全集ものの元祖『現代日本文学全集』を刊行し、はじめて書籍のマスセールを実現することにより、日本の出版史を塗り替えた存在である。

1925（大正14）年、震災後の慢性不況のさ中であつた改造社は、山本実彦の発案による一冊一円の文学全集を企画した。業界では危ぶむ声が高かったが、震災後の文化の底流を読んだ山本は賭けに出た。結果は大成功で、一挙に25万人の予約を獲得、改造社が質量ともに飛躍をとげる契機となった。

改造社の活動が出版流通や読者の構造を変革し、作家の生活を基本的に安定させた意義は大きなものがあり、この点を抜きにしては出版史も文学史も成り立たないのは自明の理である。とはいえ、その波及効果を含めた全貌を実証的に研究する手段は、従来ごく限られたものでしかなかった。このたびの『改造社出版関係資料』は、その不足を一挙に解消するもので、出版ジャーナリズム研究者を潤すのはいうまでもなく、それにとどまらない快挙といえよう。さきに刊行された『「改造」直筆原稿画像データベース』と双璧をなすものだが、今回は改造社および山本実彦の活動を主軸とした、類例のないデータベースとなっている。

山本実彦の新聞記者時代の日記や執筆記事のスクラップなどから始まり、衆議院議員時代の書類、父親についての回想、納税メモなど改造社以前の資料も豊富だが、中心となるのは改造社の全集出版前後の経営状況を物語る内部資料や、宣伝広告の実際、文芸書、学術書を中心とする新刊配本帳（複数の取次への納入割当数）などであろう。

1944（昭和19）年軍部の圧力による休刊、さらに戦後の復活と休刊（1955年）という慌ただしい時期の資料も、重要なものは網羅されてるが、注目すべきは従来まったく知られていなかった会計資料である。休刊に伴い、当然出版社では執筆者に対し、前払いしている印税や原稿料などの返済を要求しなければならなかったわけで、それは半端な数字ではなかった。当時のこととて、かなり多くの常連執筆者が前借をしており、出版社からの突然の督促に戸惑う様子が見られる。改造社に限らず戦前の大手版元は、文筆業者の“金融機関”であったという事実をあらためて認識させられる。

以上は一例で、読み込むにつれて、実に奥深いデータベースであることがわかる。研究者必見の資料として推薦したい。



**資料分類**

- 1. 山本実彦にかかわる資料
- 2. 原稿・ゲラ・書簡類
- 3. 改造社と関係先との交渉にかかわる資料
- 4. 改造社の経営にかかわる内部資料

**資料分野**

四つに内容分類されたなかから選択。資料リストへ移動します

**検索条件の入力**

年代別分類  
フリーワード検索

**資料の検索**  
分類、年代やフリーワードでの資料検索ができます



**資料リスト**

資料番号・資料名・形態・年代などを一覧

資料番号	資料名	形態	年代
001	山本実彦にかかわる資料	...	...
002	原稿類	...	...
003	雑誌のゲラ刷り	...	...
004	書簡類	...	...
005	その他編集関係資料	...	...

**資料の詳細**

カード型画面で資料解説を表示。画像を確認できます

資料番号: 001  
資料名: 山本実彦にかかわる資料  
形態: 書籍  
年代: 1925

